

選者紹介



黒岩 徳将（くろいわ とくまさ）「いつき組」所属「街」「KENOB I」同人
平成二年兵庫県生れ。現代俳句協会青年部長。
第一句集『渦』

吐きし枝踏み越えてゆく寒鴉



佐藤 文香（さとう あやか）「翻車魚」「鏡」同人
昭和六十年兵庫県生れ。
句集『海藻標本』（第十回宗左近俳句大賞）『君に目があり見開かれ』『菊は雪』『こゑは消えるのに』。詩集『渡す手』にて第二十九回中原中也賞。編著『俳句を遊べ！』『天の川銀河発電所』など。

松過のながら歩きの放つ光



高田 正子（たかだ まさこ）「青麗」主宰

昭和三十四年岐阜県生れ。俳人協会理事。NPO法人季語と歳時記の会理事。「中日新聞俳壇」選者。句集『玩具』『花実』（俳人協会新人賞）『青麗』（星野立子賞）。著書『子どもの一句』『黒田杏子の俳句』『日々季語日和』。編著『黒田杏子俳句コレクション』全四巻。

空へ近づく笹鳴をくりかへし



堀本 裕樹（ほりもと ゆうき）「蒼海」主宰

昭和四十九年和歌山県生れ。俳人協会評議員。第二回北斗賞、第三十六回俳人協会新人賞、第十一回日本詩歌句随筆評論大賞受賞。著書に句集『熊野曼陀羅』『二粟』。又吉直樹との共著『芸人と俳人』、『俳句の図書室』。『富士山で俳句教室』『散歩が楽しくなる俳句手帳』。

夜咄や暗がりに斧立て掛けて

全作品の名前を伏せて、全選者にそれぞれ特選・秀作・佳作を選んでいただきました